

お客様の「あったらいいな」を超えて、
日常の未来を生みだし続ける。

2024年3月期

決算説明資料

Financial Results for the Fiscal Year Ended March 31, 2024

TODAY'S AGENDA

AGENDA

01

2024年3月期
決算

AGENDA

02

事業別主要計数・
トピックス

AGENDA

03

2025年3月期
業績予想

AGENDA

04

中期経営計画の進捗
と2024年度の戦略

AGENDA

05

APPENDIX

AGENDA

01

2024年3月期決算

2024年3月期 決算のポイント



業績概況

経常収益は連単ともに
増収、過去最高
経常利益は連結増益、単体減益



国内ATM事業

利用件数は
やや上振れて着地、
第4世代ATMへの入替も順調



リテール事業

ローン残高は引き続き伸長、
クレジットカード・電子マネーは
計画未達



海外事業

米国の契約更改が完了、
アジアも拡大継続

2024年3月期決算
損益状況【連結】

経常収益

単体の上振れに加え、
7CE連結化を主因に増収

経常利益

成長投資の継続や為替影響により
費用増となるも、7CE連結化の効果
もあり増益で着地

注1) 増減に係るコメント及び数値は全て前年同期比
注2) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て
注3) 本資料における前年差異及び前年比は全て表示単位で比較
注4) 連結損益の為替レート
1米ドル: 2023年3月期実績 = 131.62円
2024年3月期計画 = 140.00円
2024年3月期実績 = 140.67円
注5) 本資料におけるEBITDAは全て経常利益 + 減価償却費

経常収益

1,978 億円

前年度 累 計 1,549 億円
前年比 +27.6%
計画比 ▲0.3%

経常利益

305 億円

前年度 累 計 289 億円
前年比 +5.5%
計画比 +19.6%

経常費用

1,673 億円

前年度 累 計 1,260 億円
前年比 +32.7%
計画比 ▲3.2%

親会社株主に帰属する 当期純利益

319 億円

前年度 累 計 188 億円
前年比 +69.6%
計画比 ▲16.7%

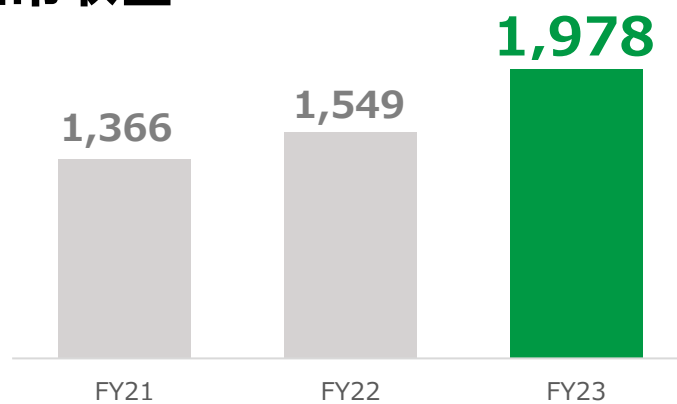
EBITDA

539 億円

前年度 累 計 484 億円
前年比 +11.3%

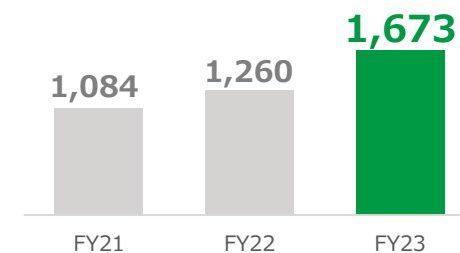
2024年3月期決算
業績推移【連結】

経常収益

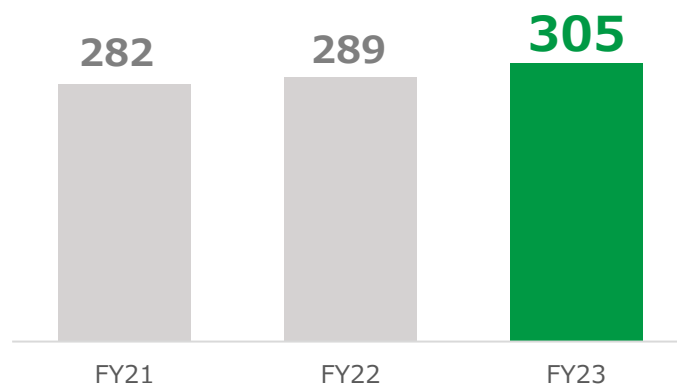


経常費用

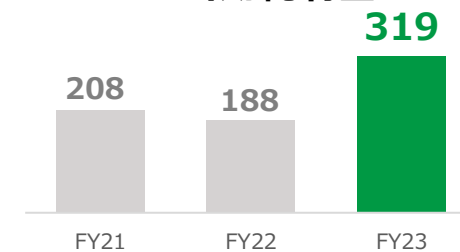
(単位：億円)



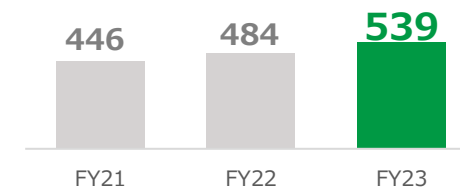
経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



EBITDA



注) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て

2024年3月期決算

損益状況【セブン銀行単体】

経常収益

旺盛な資金需要や、ATM利便性向上などにより全業態でATM利用件数が伸長したことを主因に増収、

経常収益は過去最高

経常利益

新型ATMの入れ替えによる減価償却費の増加や新紙幣対応等により**減益**

注1) 増減に係るコメント及び数値は全て前年同期比

注2) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て

注3) 本資料における前年差異及び前年比は全て表示単位で比較

注4) 本資料におけるEBITDAは全て経常利益 + 減価償却費

経常収益

1,288 億円

前年度累計 1,205 億円 前年比 +6.8% 計画比 +0.6%

経常利益

291 億円

前年度累計 315 億円 前年比 ▲7.6% 計画比 ▲3.0%

経常費用

997 億円

前年度累計 890 億円 前年比 +12.0%

計画比 +1.7%

当期純利益

193 億円

前年度累計 195 億円

前年比 ▲1.0%

計画比 ▲5.8%

EBITDA

477 億円

前年度累計 483 億円

前年比 ▲1.2%

計画比 ▲3.6%

AGENDA

02

事業別主要計数・
トピックス

国内事業(ATM)

国内事業(ATM)

主要計数

ATM利用件数の推移

年度総利用件数

+59百万件

年度平均利用件数

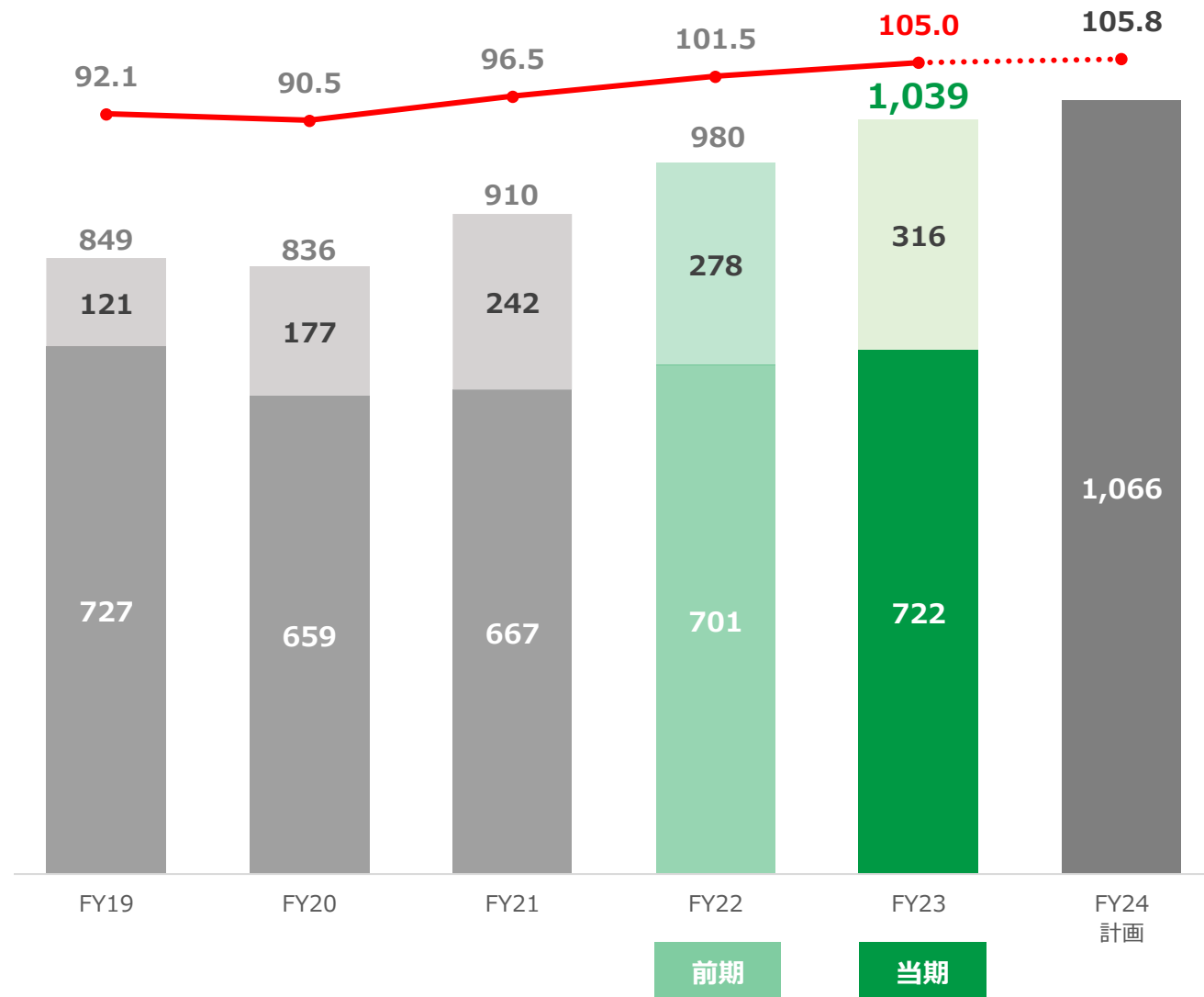
+3.5件

- 注1) 増減に係るコメント及び数値は全て前年同期比
注2) ATM総利用件数、平均利用件数には残高照会、
電子マネーチャージ、暗証番号変更、利用限度額変更等を含まず
注3) 本資料におけるノンバンク等は、証券会社、生命保険会社、
クレジット会社、信販会社、消費者金融会社、
コード決済事業会社等の合計
注4) FY23のATM受入手数料単価109.3円
※ ATM受入手数料単価は、
 $\text{ATM受入手数料} \div (\text{総利用件数} - \text{ATM受入手数料収入を伴わない利用件数} < \text{売上入金等} >)$ で算出

平均利用件数
(件/日/台)

ノンバンク等
総利用件数
(百万件)

預貯金金融機関
総利用件数
(百万件)



国内事業(ATM)

主要計数

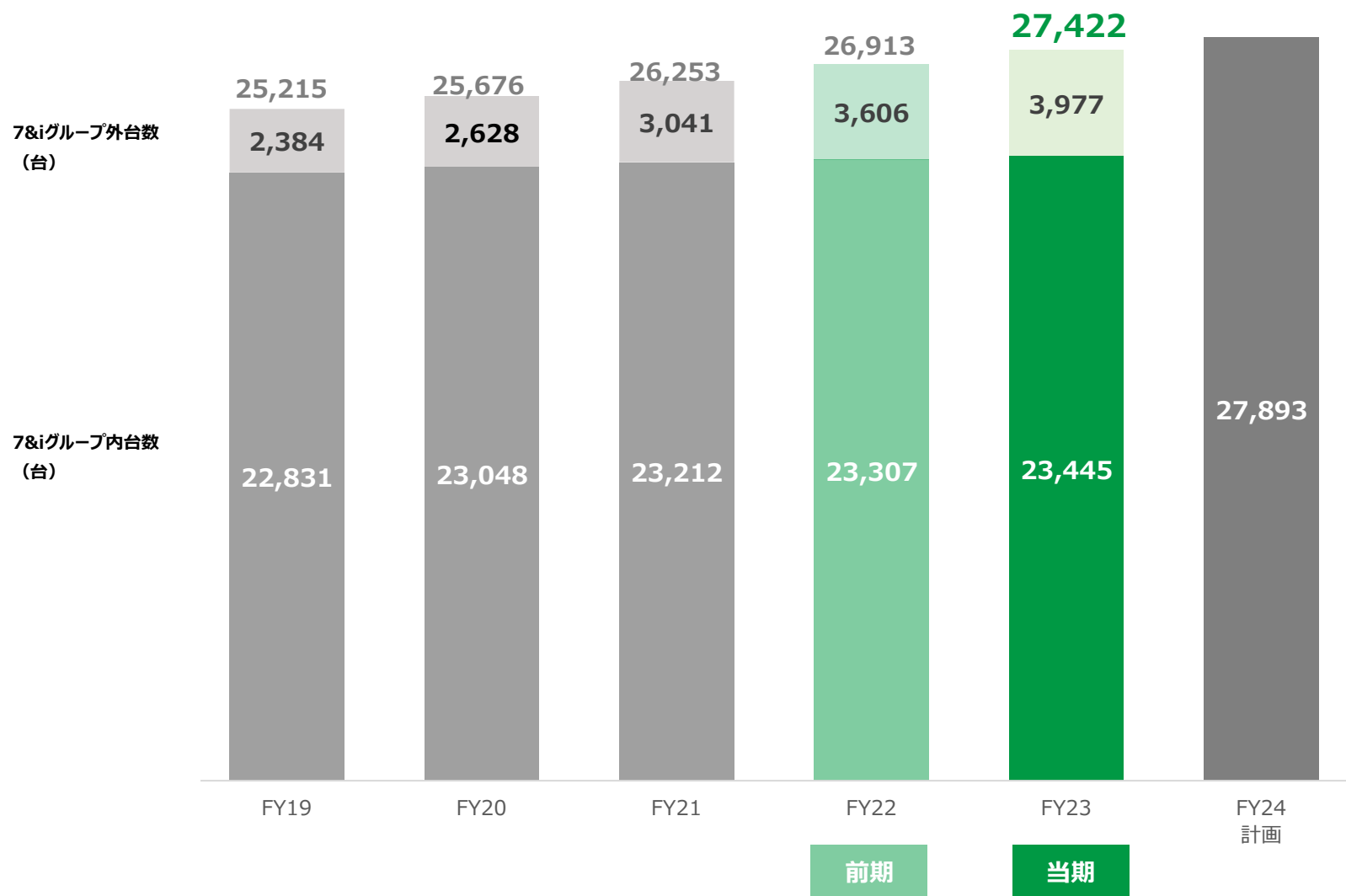
ATM期末台数の推移

ATM期末台数

+ 509台

グループ内 **+138台**

グループ外 **+371台**



注) 増減に係るコメント及び数値は全て前年同期比

国内事業(ATM)

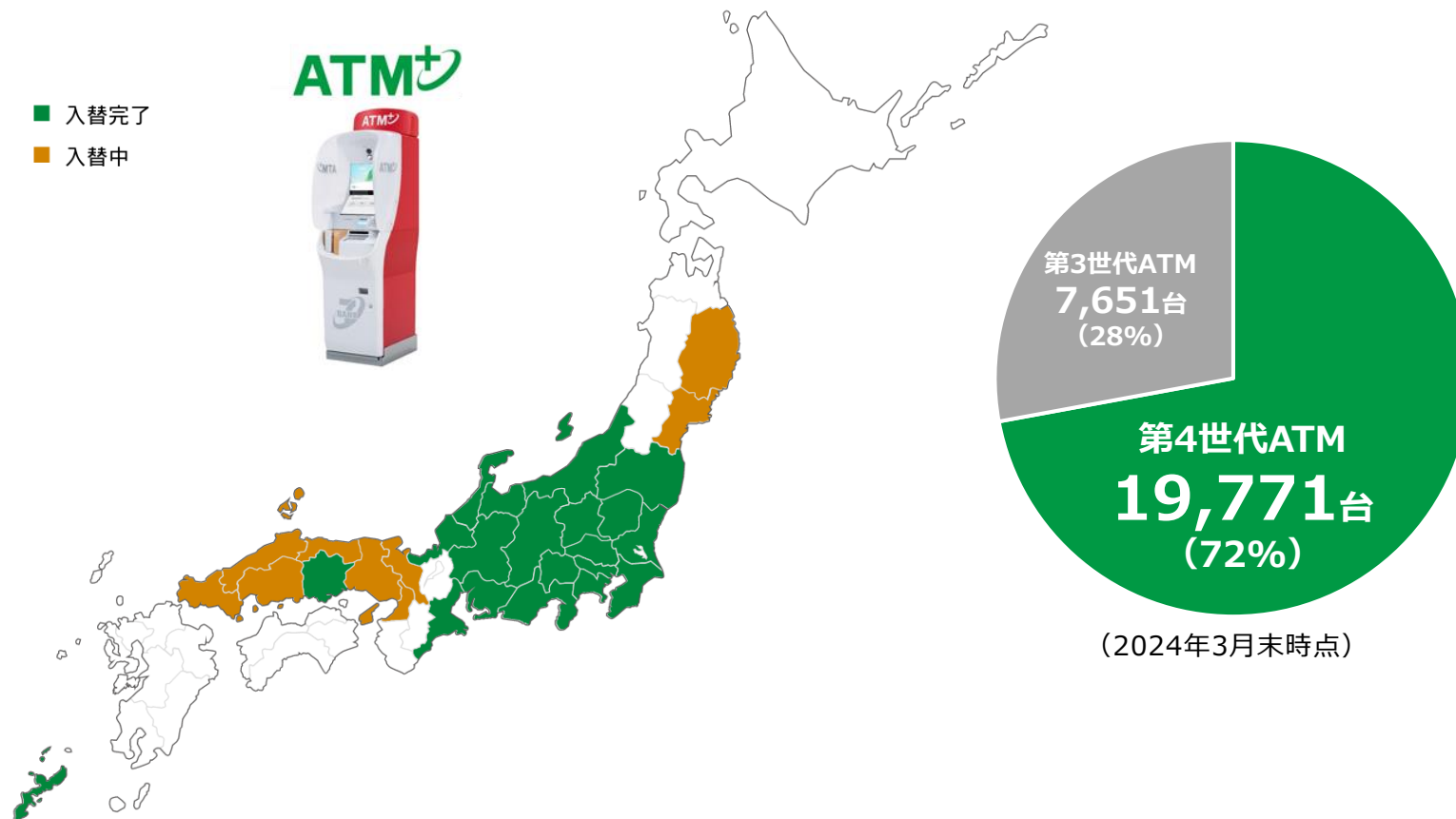
主要計数

第4世代ATMへの 入替状況

2023年度の入替は順調に推移し、
全体の7割以上の入替を完了
(2024年4月には**20,000台突破**)

本人認証サービス「+Connect」の
全国展開を可能に

第4世代ATMは北日本・西日本へも展開を開始



**2024年度末（2025年3月）までに
全台入替完了予定**

国内事業(ATM) トピックス

「+ Connect」は23年9月にサービスイン、
地銀を中心に**10社以上と提携**

金融機関との共同ATMも引き続き設置を
拡大、「+ Connect」との相乗効果狙う

「+ Connect」は順調に提携先拡大
引き続き提携先・サービスの拡販を図る

+ Connect
プラスコネクト

ATM窓口



ATMお知らせ



これまでの提携合意先



BtoB子会社との協同営業で
更なる新規提携先開拓へ

金融機関との共同運営ATMは
引き続き台数増のドライバーに

福井銀行



70台

(24年3月末実績)

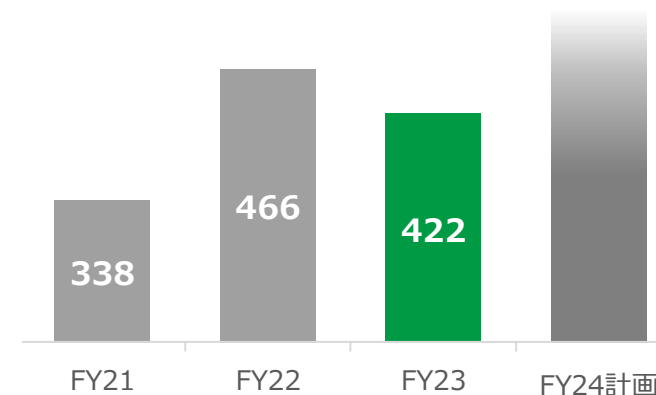
商工中金



43台

(24年度内設置予定台数)

金融機関との共同運営ATM台数



金融機関との共同運営ATMは
2024年度に500台規模へ

国内事業（リテール）

国内事業(リテール)

主要計数

口座数と預金残高の推移(個人)

タッチ決済対応のデビット機能付き
新キャッシュカード発行や
「+Connect」を使った即時の
口座開設など、利便性を向上
積極的な広告施策により
口座数・残高ともに伸長

普通預金・定期預金の金利も見直し

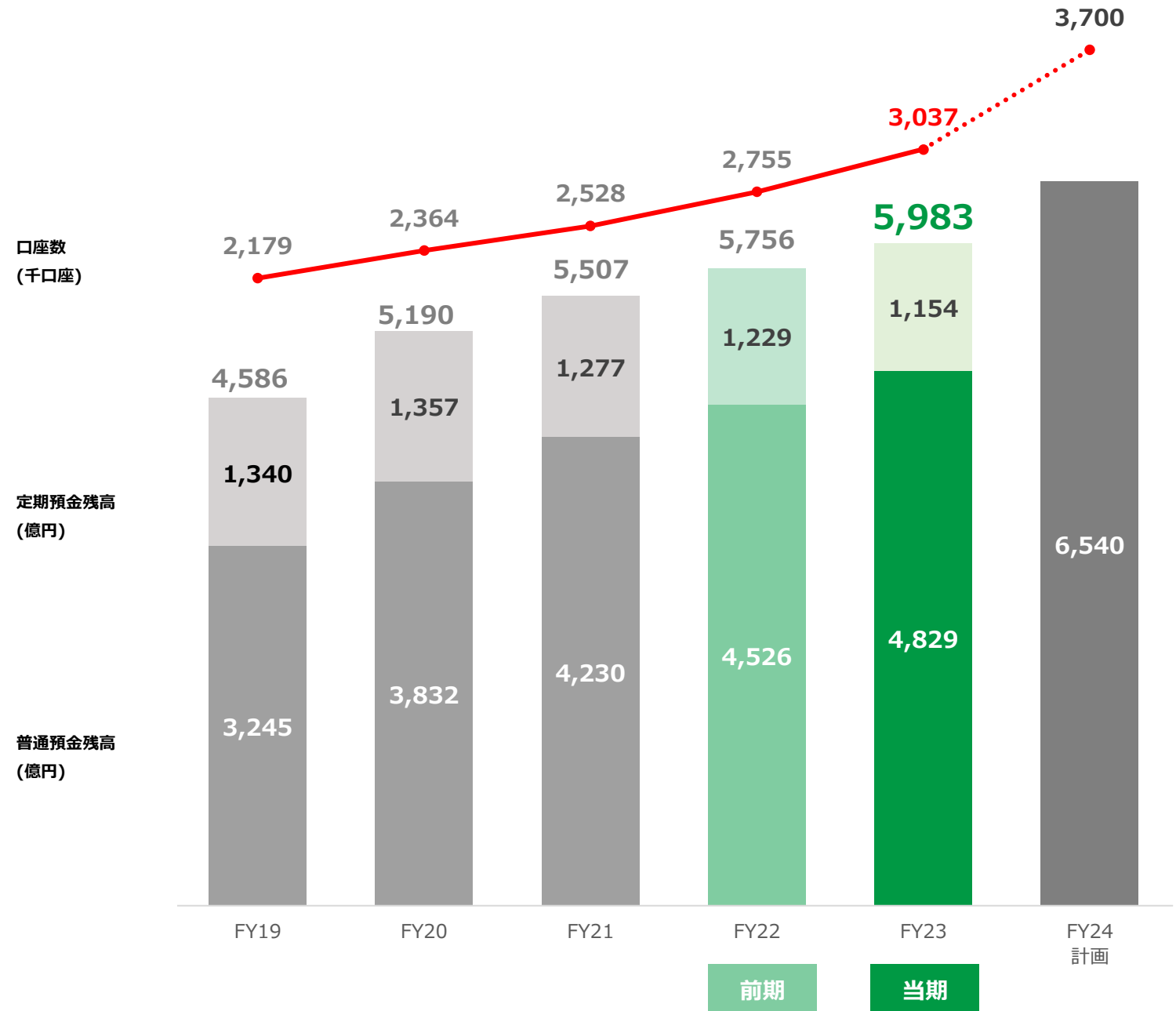
口座数

+ 282千口座

預金残高

+ 227億円

注) 増減に係るコメント及び数値は全て前年同期比



国内事業(リテール)

主要計数

個人向けローンサービス

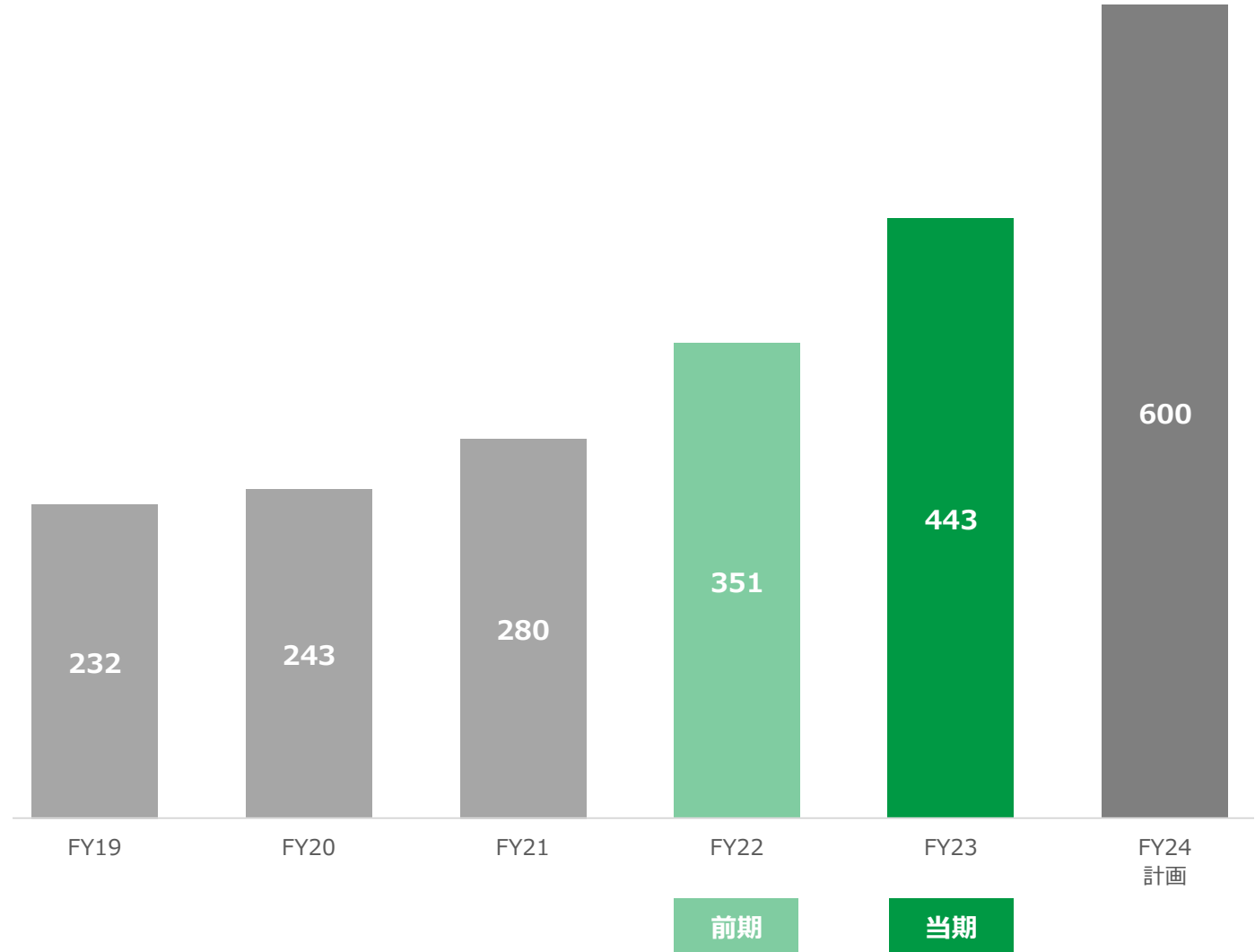
カードレスへの対応、
マーケティング強化等により引続き伸長、
今後も残高増加を図る

期末残高

443億円

(+92億円)

期末残高
(億円)



注1) 増減に係るコメント及び数値は全て前年同期比

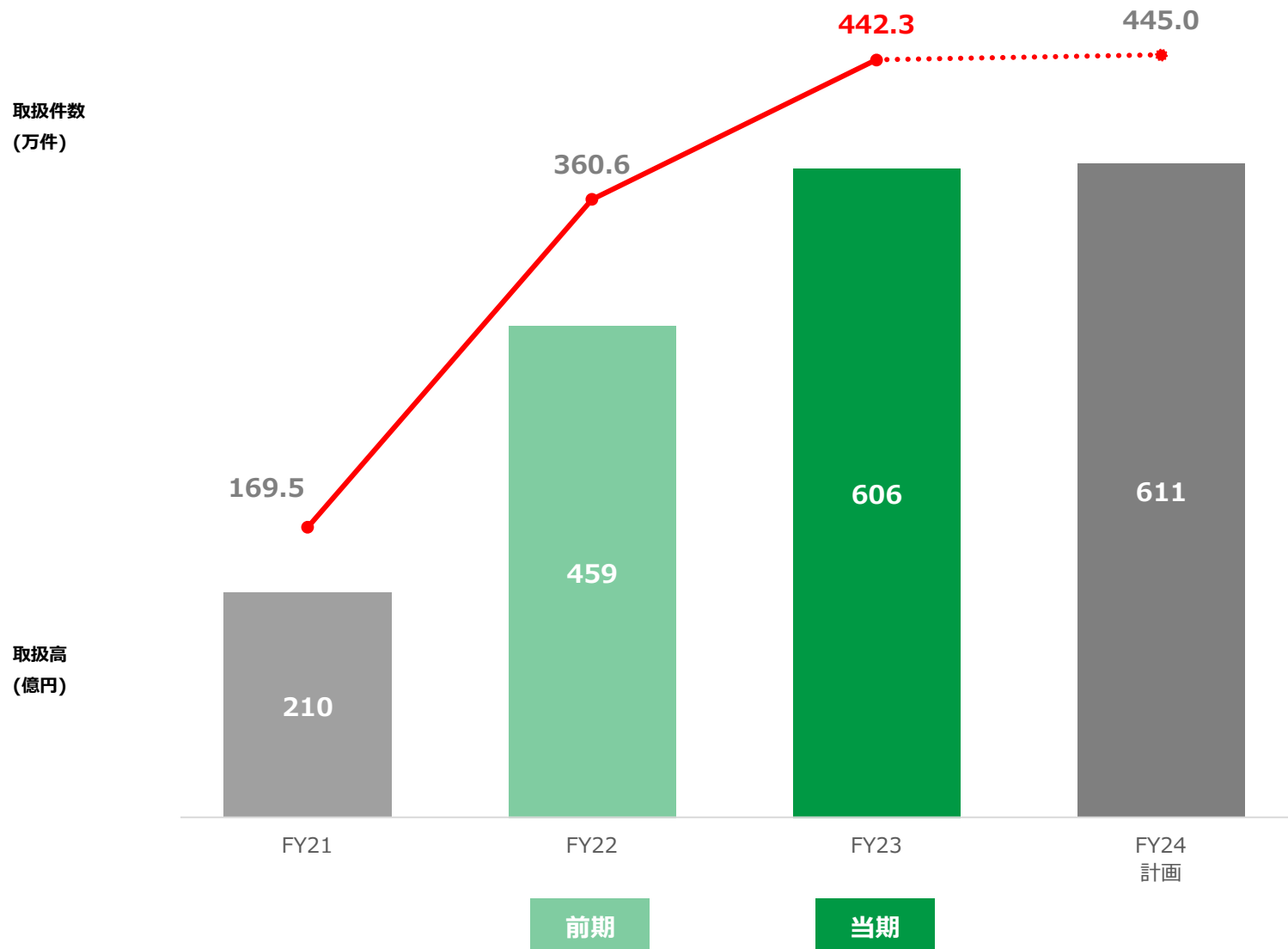
注2) FY22までの期末残高には、Credd Finance提供サービスも含まれております。

国内事業(リテール)
主要計数
セブン銀行
後払いサービス

23年度は件数・取扱高伸長も、
サービスの対象年齢変更に伴い、
24年度の成長ペースは鈍化

取扱件数
+ 81.7万件

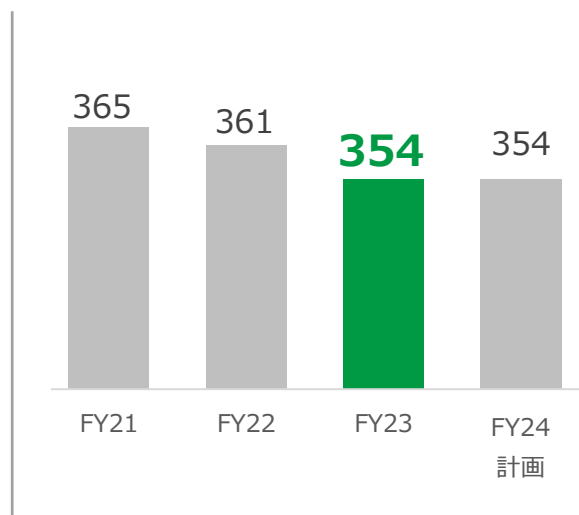
取扱高
+ 147億円



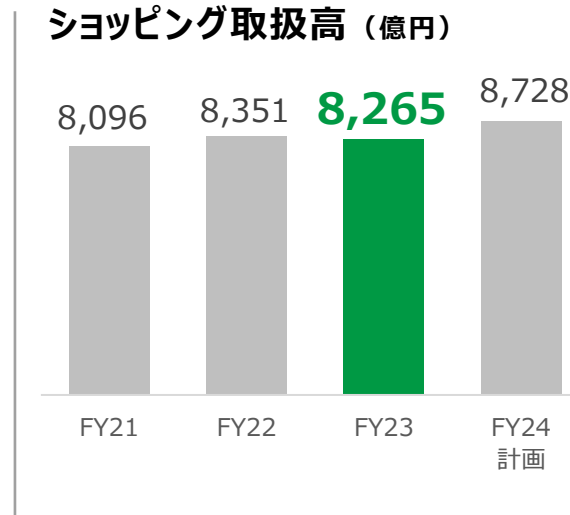
注1) 増減に係るコメント及び数値は全て前年同期比
注2) 2021年9月開始のサービスのため、FY21は3Q、4Qのみ。

セブン・カードサービス
KPI

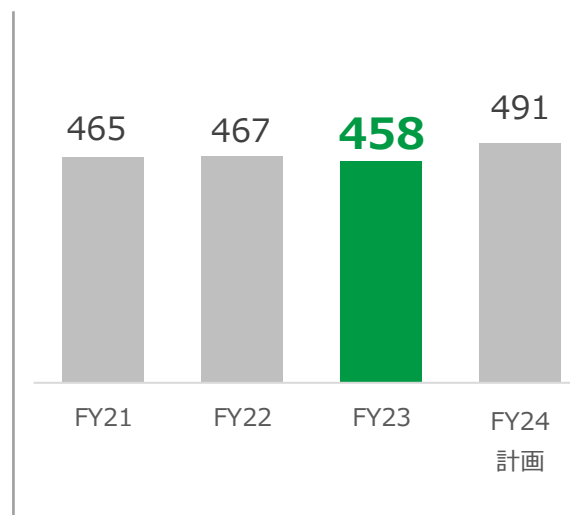
クレジットカード会員数 (万人)



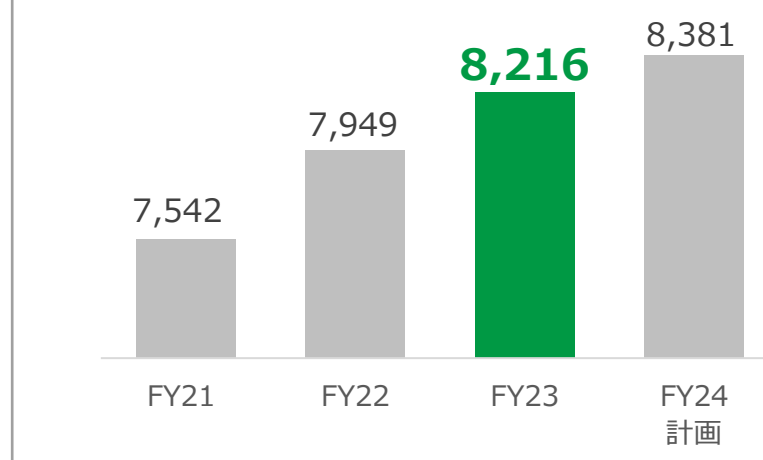
クレジットカード
ショッピング取扱高 (億円)



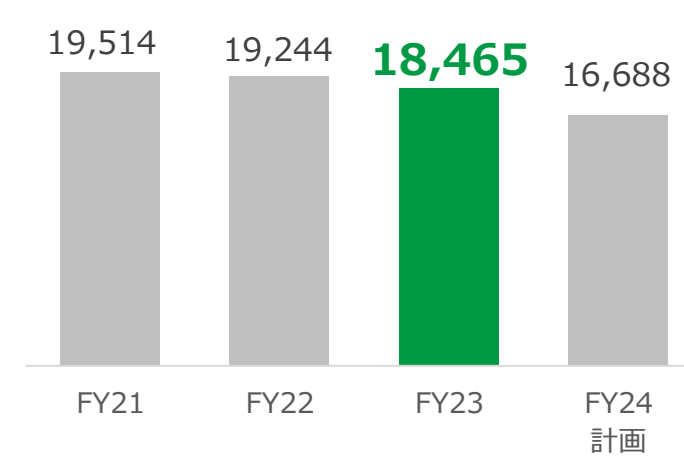
金融商品残高 (億円)



電子マネー会員数 (万人)



電子マネー取扱高 (億円)



注1) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て
注2) 7CEはFY22までは2月末決算、FY23から3月末
決算となっておりますが、本スライドのKPIは各年度、
4月～翌年3月までの数字を表示しております

国内事業(リテール) トピックス

24年2月に7iD×セブン銀行口座の
登録サービスを提供開始、
グループ顧客の取込み拡大に注力

7iDとの紐づけによりセブン銀行の口座開設を迅速化、 口座紐づけによるセブンマイル付与も開始

7iD登録者
3000万人超



7BK口座
300万口座超



新規口座
開設

1,000マイル

7BKATM
入出金

5マイル/回
(1日1回、月3回まで)

海外事業

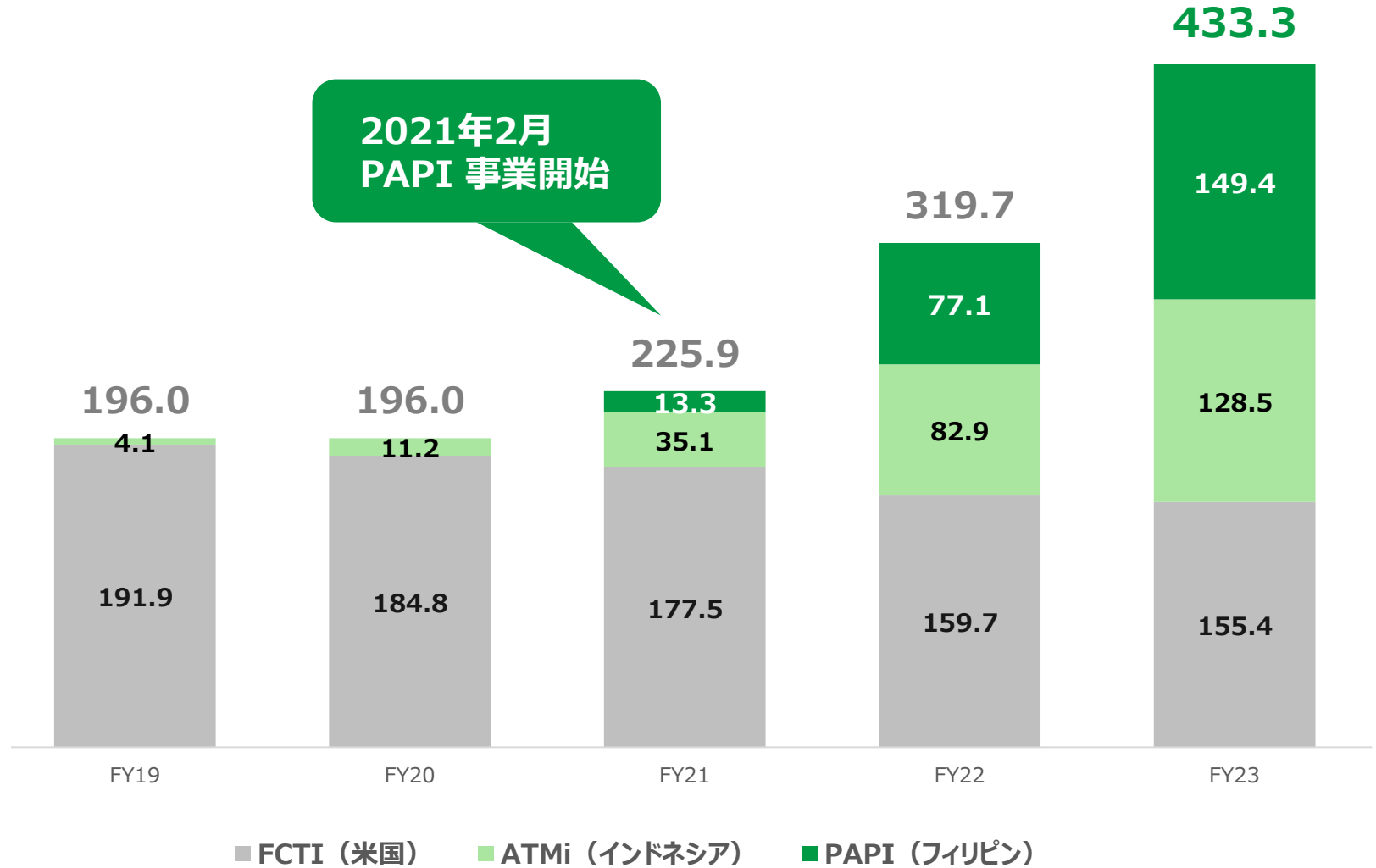
海外事業

ATM総利用件数の推移

(単位：百万件)

インドネシア (ATMi) および
 フィリピン (PAPI) での
 ATM設置拡大が件数にも貢献、
ATM総利用件数が引続き伸長

2021年2月
 PAPI 事業開始



注1) 米国、インドネシアのATM利用件数には残高照会を含む。
 注2) フィリピンのATM利用件数には残高照会を含み、
 売上金入金を除く。
 注3) 1Q (1-3月)、2Q (4-6月)、3Q (7-9月)、
 4Q (10月-12月)

海外事業

米国

SEIとの契約更改が完了、
足元の利用件数は
横ばいで厳しい状況が続くが、
新契約のもと利益改善を目指す

FY23経常収益

266億円

FY23経常利益

▲19億円



注1) 米国のATM利用件数には残高照会を含む
注2) 1Q (1-3月)、2Q (4-6月)、3Q (7-9月)、
4Q (10月-12月)
注3) FY24 1Qの数値は速報値

海外事業

インドネシア

ATM台数の拡大継続
ATM設置は継続しつつも、
不採算ATMの移設、
ブランディング行の獲得などで
件数底上げを目指す

FY23経常収益

68億円

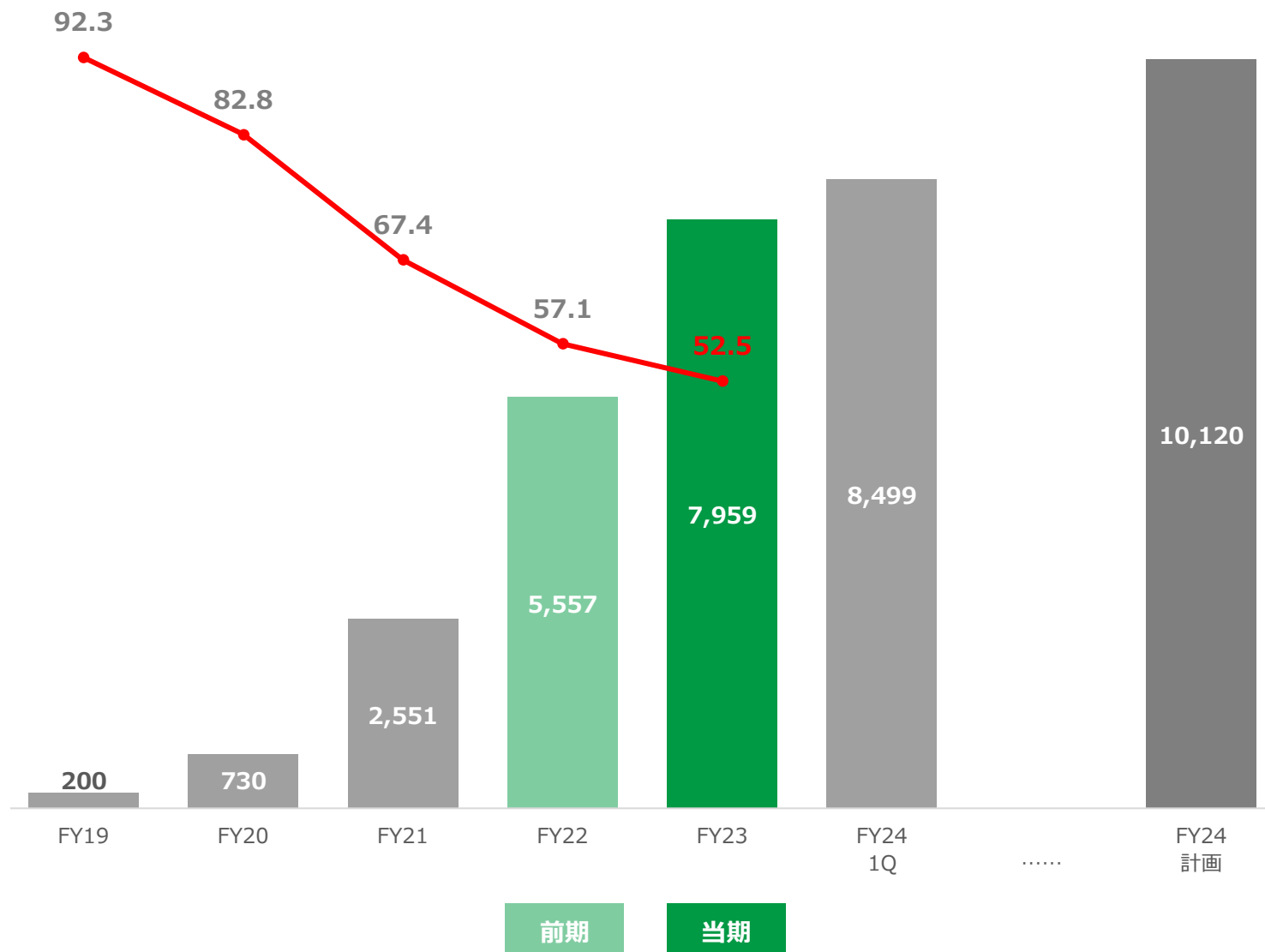
FY23経常利益

8億円

- 注1) インドネシアのATM利用件数には残高照会を含む
注2) 1Q (1-3月)、2Q (4-6月)、3Q (7-9月)、
4Q (10月-12月)
注3) FY24 1Qの数値は速報値
注4) 台数の速報値は受託設置を除く

平均利用件数
(件/日/台)

期末設置ATM台数
(台)

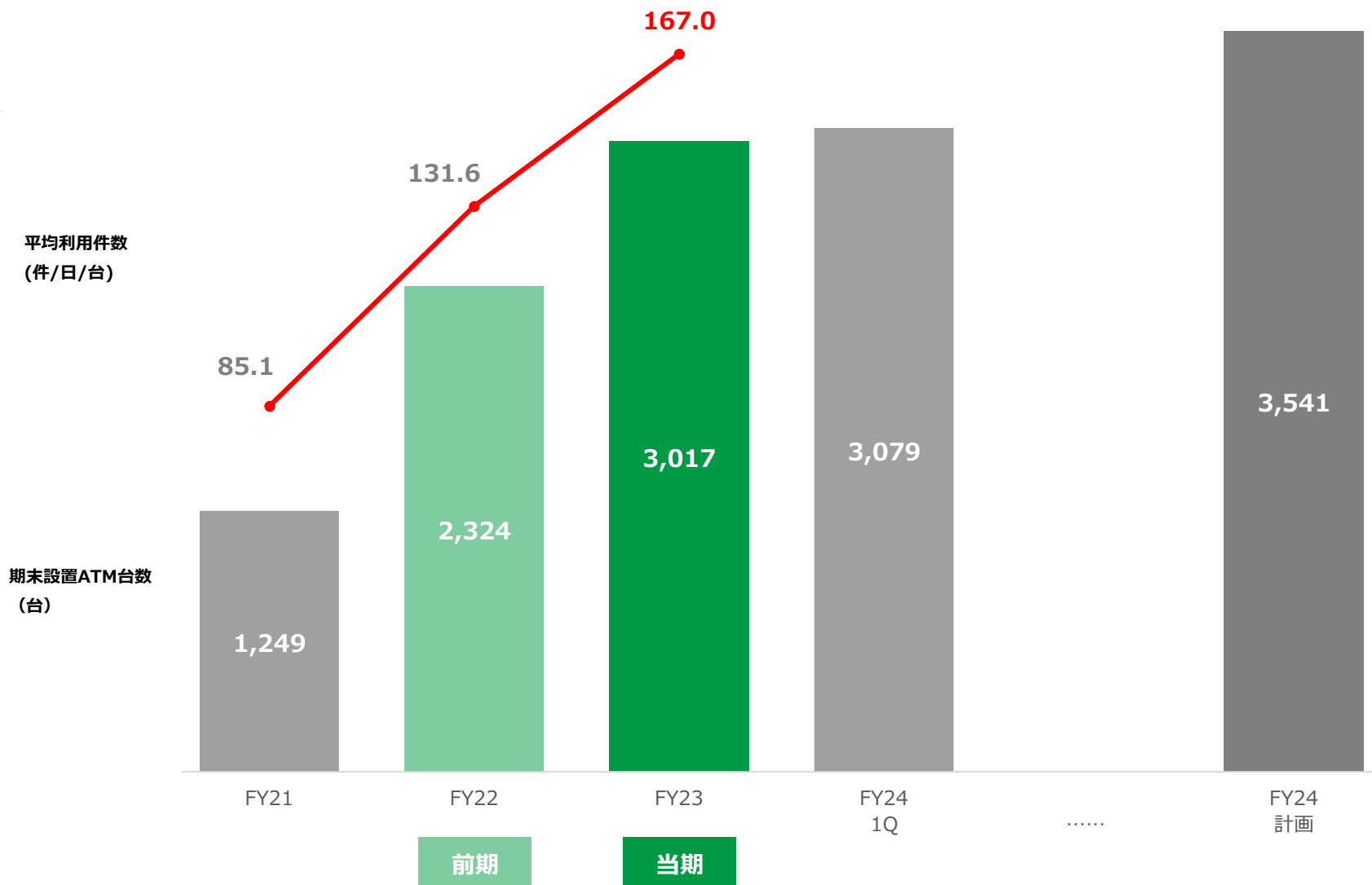


海外事業 フィリピン

平均利用件数は計画を上回って推移
24年度は黒字化へ

FY23経常収益
53億円

FY23経常利益
▲2億円



注1) フィリピンのATM利用件数には残高照会を含み、
売上入金を除く
注2) 1Q (1-3月)、2Q (4-6月)、3Q (7-9月)、
4Q (10月-12月)
注3) FY24 1Qの数値は速報値

AGENDA

03

**2025年3月期
業績予想**

業績予想

2025年3月期 通期予想【連結】

経常収益

2,150億円

前年度累計 1,978億円 前年比 +8.6%

経常利益

280億円

前年度累計 305億円 前年比 ▲8.1%

親会社株主に帰属する 当期純利益

195億円

前年度累計 319億円 前年比 ▲38.8%

増収・減益

- ・セブン銀行単体は、ATM利用件数の伸長を主因に増収
- ・子会社はセブン・カードサービスが通期計上となるほか、海外事業も増収
- ・新型ATM入替に伴う減価償却費増がピーク、経常利益は減少

2025年3月期 通期予想【単体】

経常収益

1,335億円

前年度累計 1,288億円 前年比 +3.6%

経常利益

275億円

前年度累計 291億円 前年比 ▲5.4%

当期純利益

190億円

前年度累計 193億円 前年比 ▲1.5%

注) 利益の増減は「経常利益」を指す

AGENDA

04

中期経営計画の進捗と 2024年度の戦略

各テーマは着実に進捗

25年度の目標達成に対し、さらなる打ち手が必要

2023年度の取り組み・成果

多角化の推進



- ✓ セブン・カードサービス連結子会社化
(2024年4月に完全子会社化)
- ✓ +Connect (プラスコネクト) サービス開始

収益基盤強化



- ✓ 国内ATM27,000台突破
- ✓ ローン残高400億円突破
- ✓ 米国FCTIの契約更改完了

収益構造改革



- ✓ Credd Finance清算完了
- ✓ セブン・グローバルレミット事業譲渡

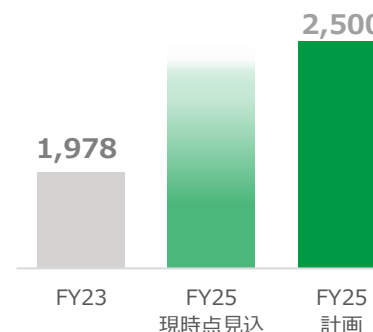
企業変革



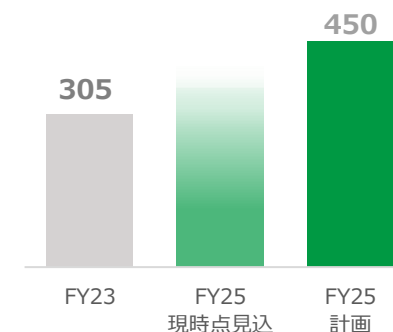
- ✓ データ・デジタル活用の浸透・変革意識醸成
- ✓ 人事制度見直しによるプロ人材の育成

中期経営計画に対する見通し

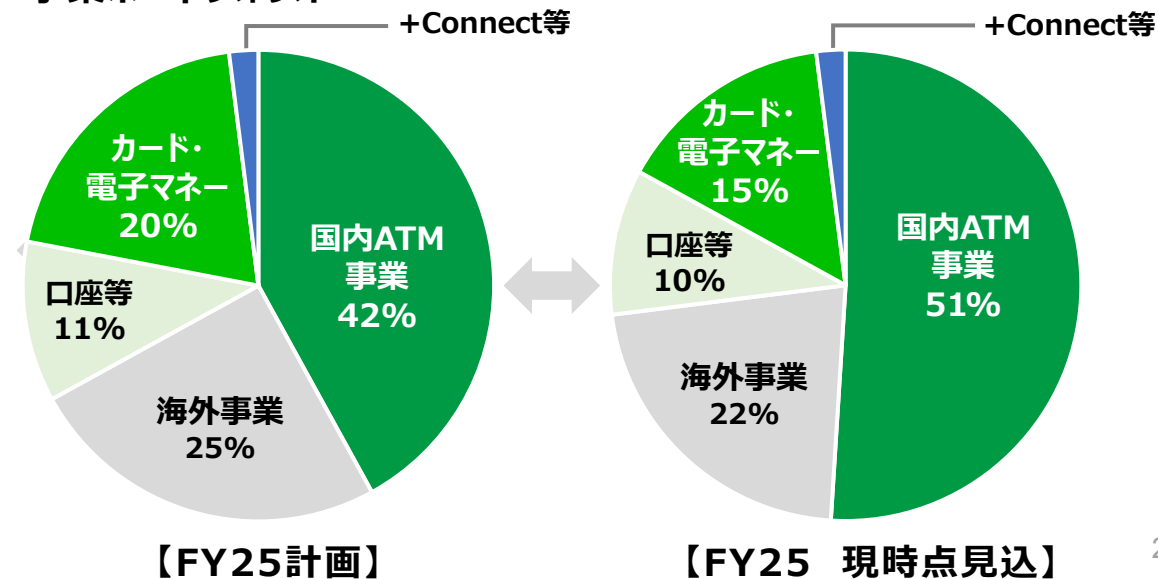
経常収益 (億円)



経常利益 (億円)



事業ポートフォリオ



2024年度の取組み：中期経営計画達成に向けて収益基盤強化を継続、将来を見据えたビジネスモデル変革を推進

収益基盤強化



収益に繋がる施策を実行

国内ATM事業

- ✓ 採算重視の設置、再配置
- ✓ +Connectとの協働、クロスセル強化

リテール事業（口座）

- ✓ 7iD連携を軸としたデジタルマーケティング本格展開

海外事業

- ✓ 米国：新契約+多角化で黒字化を目指す
- ✓ アジア：黒字拡大・新規国への進出

ビジネスモデル変革



事業環境変化の中でも利益確保できる体制へ

リテール事業（クレジットカード）

- ✓ セブン-イレブン顧客を中心とした会員数の圧倒的拡大

リテール事業（口座）

- ✓ ローン等のストックビジネスを積極推進

新規事業

- ✓ +Connectのサービス拡充、早期スケール化

社会課題解決への貢献と企業変革



- ✓ 環境変化に合わせて重点課題を見直し
- ✓ データ活用、生成AI等の技術活用をベースとした働き方の推進
- ✓ DXリテラシー・新事業創造リテラシーを持つ人財育成の継続

海外事業

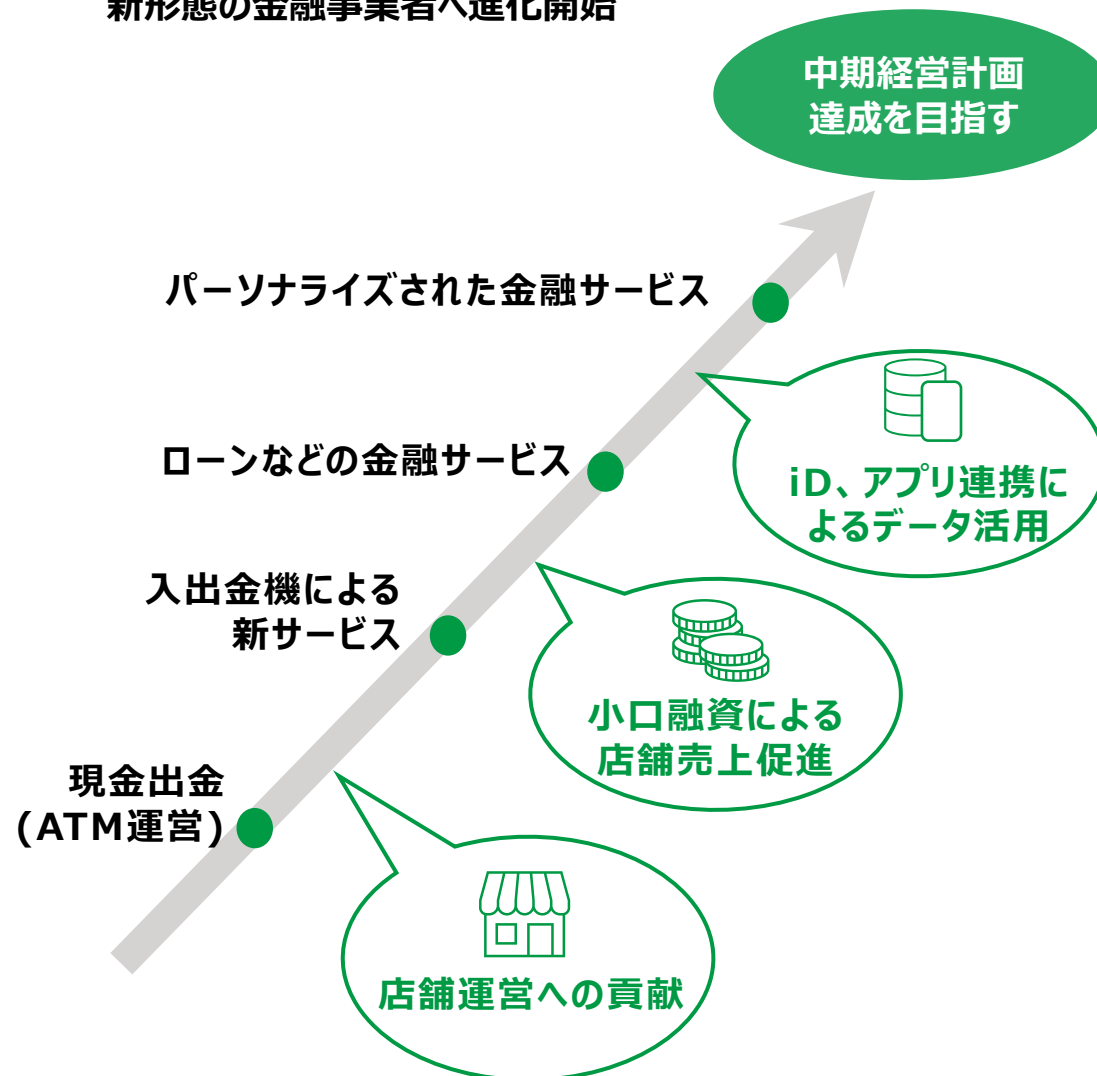
海外事業全体で多角化を進めユニークな存在へ進化させる

■ 米国：SEIとの新契約の概要

- ✓ 契約期間：2024年7月～2032年6月の8年間
- ✓ 台数計画：約11,600台
(新たにSpeedwayへ約3,000台のATMを設置)
※Speedwayへの設置は2025年より順次開始予定
- ✓ ATM：入出金機導入の試行開始
- ✓ 経済条件：従前の契約よりも改善

新契約を機に、入出金機を利用した
新サービス導入も検討

■ グローバルでも類のない、ATM事業を基盤とした 新形態の金融事業者へ進化開始



面の拡大と、多角化を同時並行させ、海外事業のステータスを向上させる

インドネシア・フィリピンに次ぐ
アジア3カ国目への
進出

フィリピン

- ✓ 通期で黒字化達成
- ✓ セブン-イレブン内外への設置推進
- ✓ 新規提携先の追加
- ✓ 入出金取引以外の新サービス開始

7-Eleven Internationalの
展開に合わせ
海外事業拡大を検討

インドネシア

- ✓ 24年末にはATM台数1万台超へ
- ✓ 不採算ATMの移設実施
- ✓ 新サービス導入による取引件数拡大

米国

- ✓ 24年7月～新契約開始
- ✓ オペレーション効率化・コスト削減
- ✓ SEIリワードとの連携
- ✓ 入出金機を利用した新サービス導入

国内事業（リテール）

中核となるタッチ決済搭載のクレジットカード拡大に注力、口座・与信への送客で他金融サービス連携効果を狙う

1 会員数の劇的増加

7iDとの連携強化で
グループ顧客を取り込み



2 買い物がお得な決済サービス

日常使いのカード化を推進、
付随金融サービス収益を増加



3 長く安心して使える金融サービス

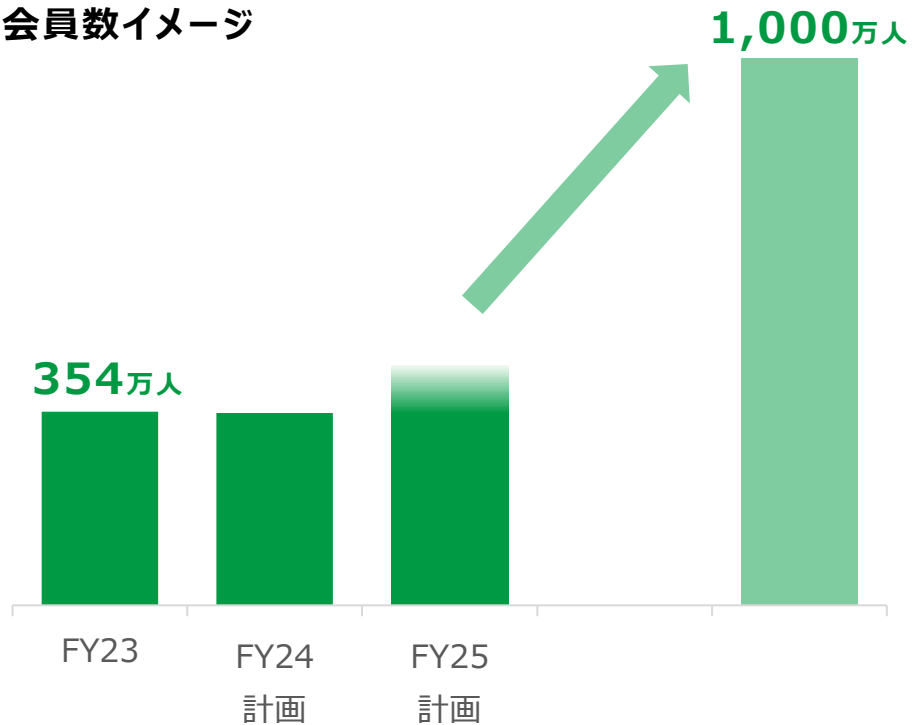
金融・小売データを用いた
審査の見直しにより獲得率を改善



クレジットカード事業の圧倒的拡大

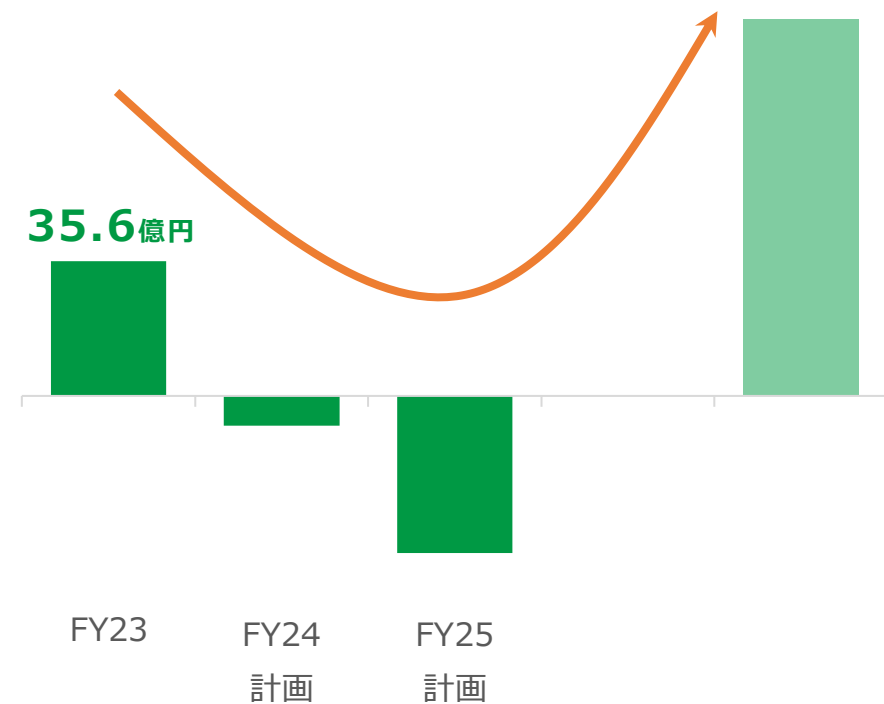
24～25年度にかけて戦略的にコストを投入し、クレジットカード会員を獲得

会員数イメージ



5年以内に1,000万人の
会員数を目指す

セブン・カードサービス全体の利益イメージ



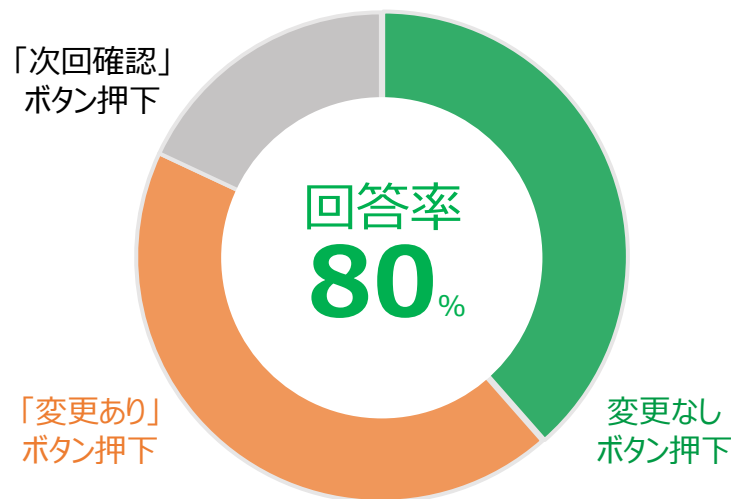
積極的に会員数・残高の獲得を図る
当初赤字も26～27年に反転させる

新規事業

+Connect (プラスコネクト) : AML (継続的顧客管理、在留期限管理) や顧客チャネル多様化といったニーズに対応

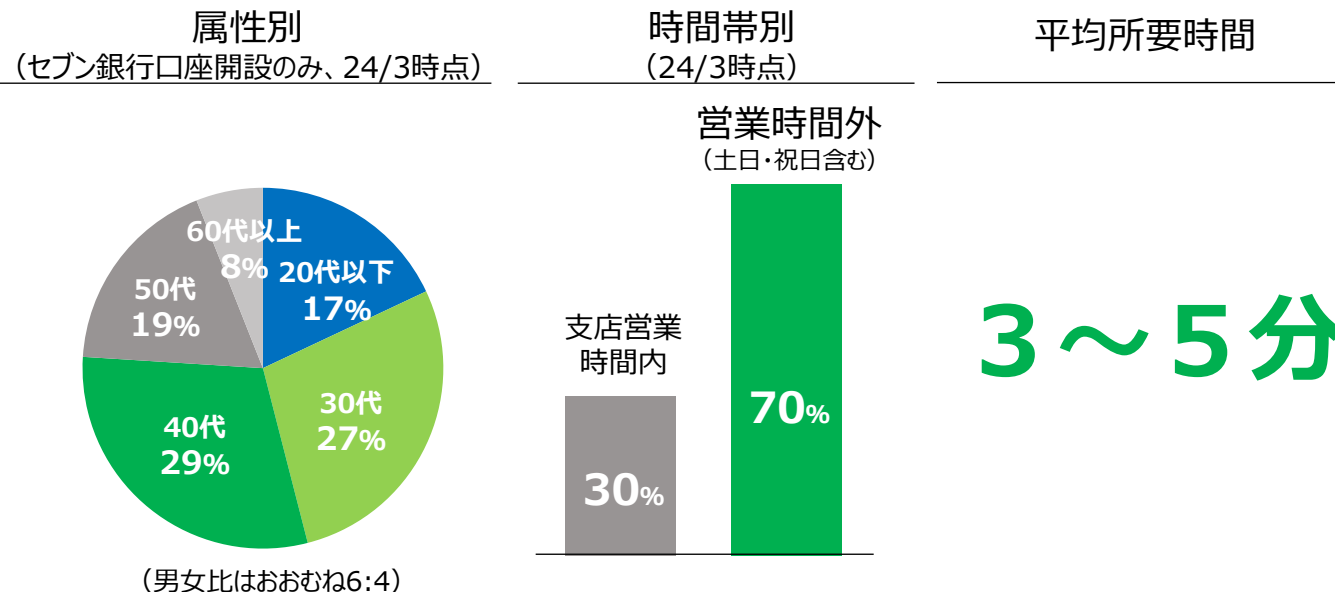
ATMお知らせ

郵送・Web等に比べ
高い回答率を実現



ATM窓口

若年層や営業時間外の手続きニーズに対応



■ 提携先の金融機関さまからも、顧客チャネルの多様化・業務効率化の好事例として評価

セブン銀行公式note 提携先ご出演「Voice of Partner」より
(<https://note.com/sevenbank/m/m11071187e25c>)

群馬銀行



いつでもどこでも気軽に手続きができる
“親しみやすさ”や、自分に合った方法で
手続きができる“選択肢の多さ”はお客
さまとの距離を縮めることにつながると
思います。

北陸銀行



口座開設の際、「ATM窓口」であれば、
システムによる本人確認機能により、**人間が確認する以上に確実なチェック体制が実現できます。**

+Connect (プラスコネクト) : サービス拡大と提携先拡大を着実に進め、収益貢献化

金融機関

ローンの新規・増額申込サービスの提供開始



**申込完了率
郵送通知に比べ
約2倍**
(※セブン銀行口座、
速報値)

コンビニATMの親和性を活かす

事業会社

事業会社初のATM窓口導入 (24年6月～)



外国人労働者の会員登録

非対面での本人確認が可能な世界を実現

New!

ローン新規・増額

2023年9月～
サービス開始

属性変更確認

収入証明提出

継続的顧客管理

在留期限管理

ATMお知らせ

New!

会員登録

ローン申込

電話番号変更

口座開設

住所変更

ATM窓口

...

新サービス

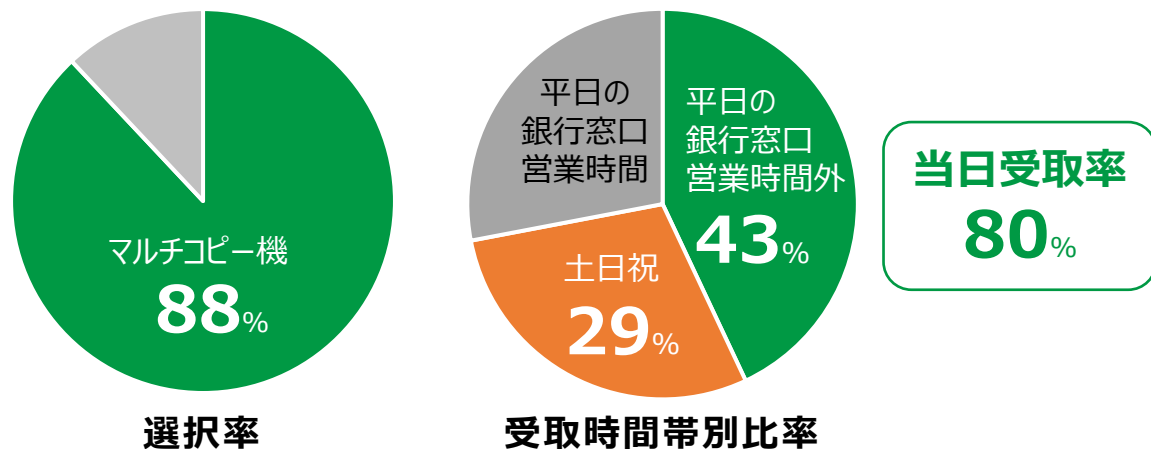
+Connect (プラスコネクト) サービス

コンビニ証明書受取サービス：セブン-イレブンのマルチコピー機を活用

■ サービス概要

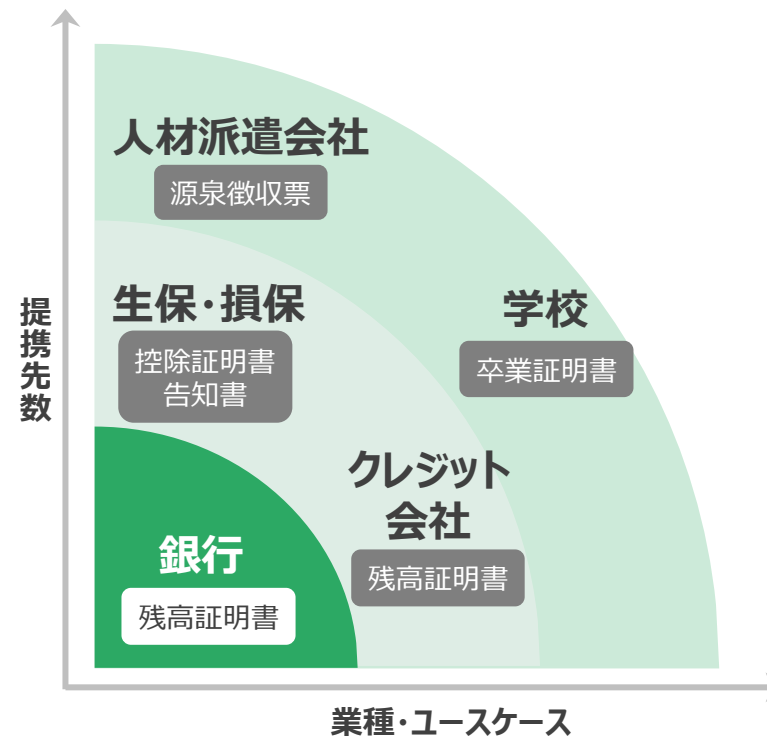


■ 当社残高証明書 利用状況



注) 利用状況はセブン銀行での2024年3月1日～31日までの実績

■ 金融機関にとどまらない提携先の拡大を目指す



- ✓ +Connectとの連携による提携先拡大
- ✓ 通帳（取引明細機能提供）
→ ATM共同運営への誘導

社会課題解決への貢献・企業変革

社会課題解決への貢献

トピックス

5つの重点課題を
セブン銀行の事業活動として、
全社的に推進

2023年度の取り組み

金融教育の実施

- ◆小学生向けの金融教育教材の作成・提供
（「家庭科」授業での実施を想定）
- ◆中学生向けに金融犯罪に関する講演を実施
（当社金融犯罪対策部員を派遣）



小学生向け金融教材（ARROWS社協力）



中学生向け講演の様子

気候変動への対応

- ◆TCFDシナリオ分析開示対応（CDP評価「C」⇒「B-」に評価UP）
- ◆パートナー企業3社と合同した「ATMパートナーサステナビリティ会議」の発足
（Scope3開示に向けた準備）

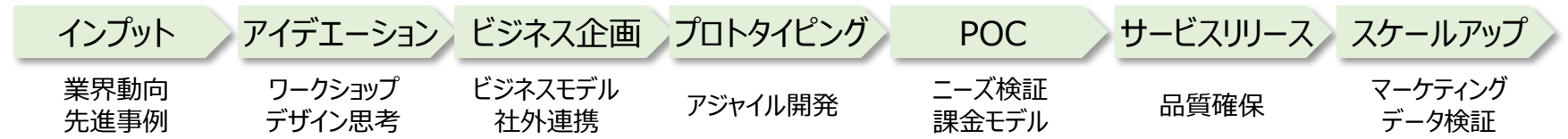
5つの重点課題の検証

重点課題（2019年策定）

安心・安全な 決済インフラの提供	新しい金融サービス を通じた生活創造	誰もが活躍できる 社会づくり	環境負荷の低減	多文化共生の実現
---------------------	-----------------------	-------------------	---------	----------

2024年度は重点課題の見直しを予定

企業変革 (CX)
トピックス



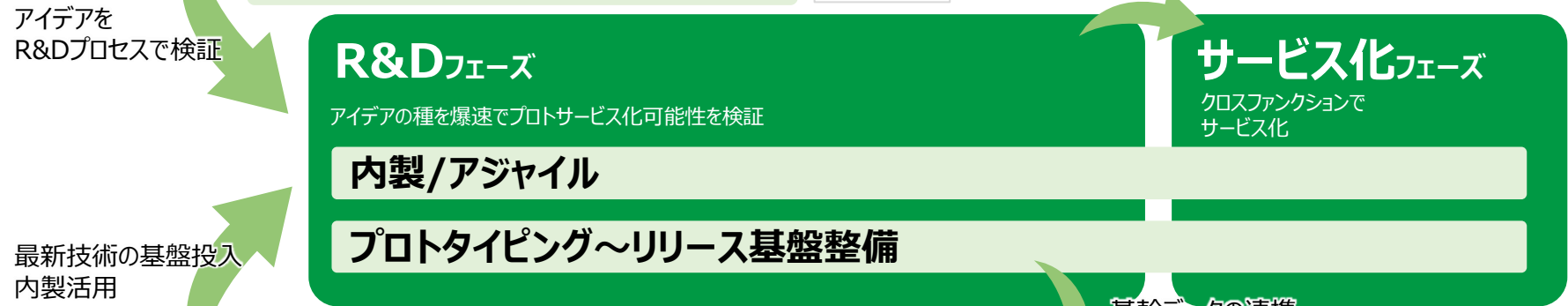
EX10 (10%をイノベーション活動へ) 2022~

学ぶ、変わる、うみだす
SEVEN BANK Academia 越境学習ゼミ 2021~

アクセラレータープログラム 2016~



新たな施策でイノベーションをより加速



アイデアを
R&Dプロセスで検証

最新技術の基盤投入
内製活用

基幹データの連携

技術探索
認証
次世代ATM
Web3/NFT

AI・データ 2017~

RPA、市民開発 2021~

デジタルマーケ
7IDデータ活用

即検証・即改善

Sprint

株主還元方針

株主還元方針

基本方針

- ✓ 強固な財務基盤を背景に、配当中心の安定的・継続的な株主還元を実施
- ✓ 実額にも配慮しつつ、配当性向40%以上を維持

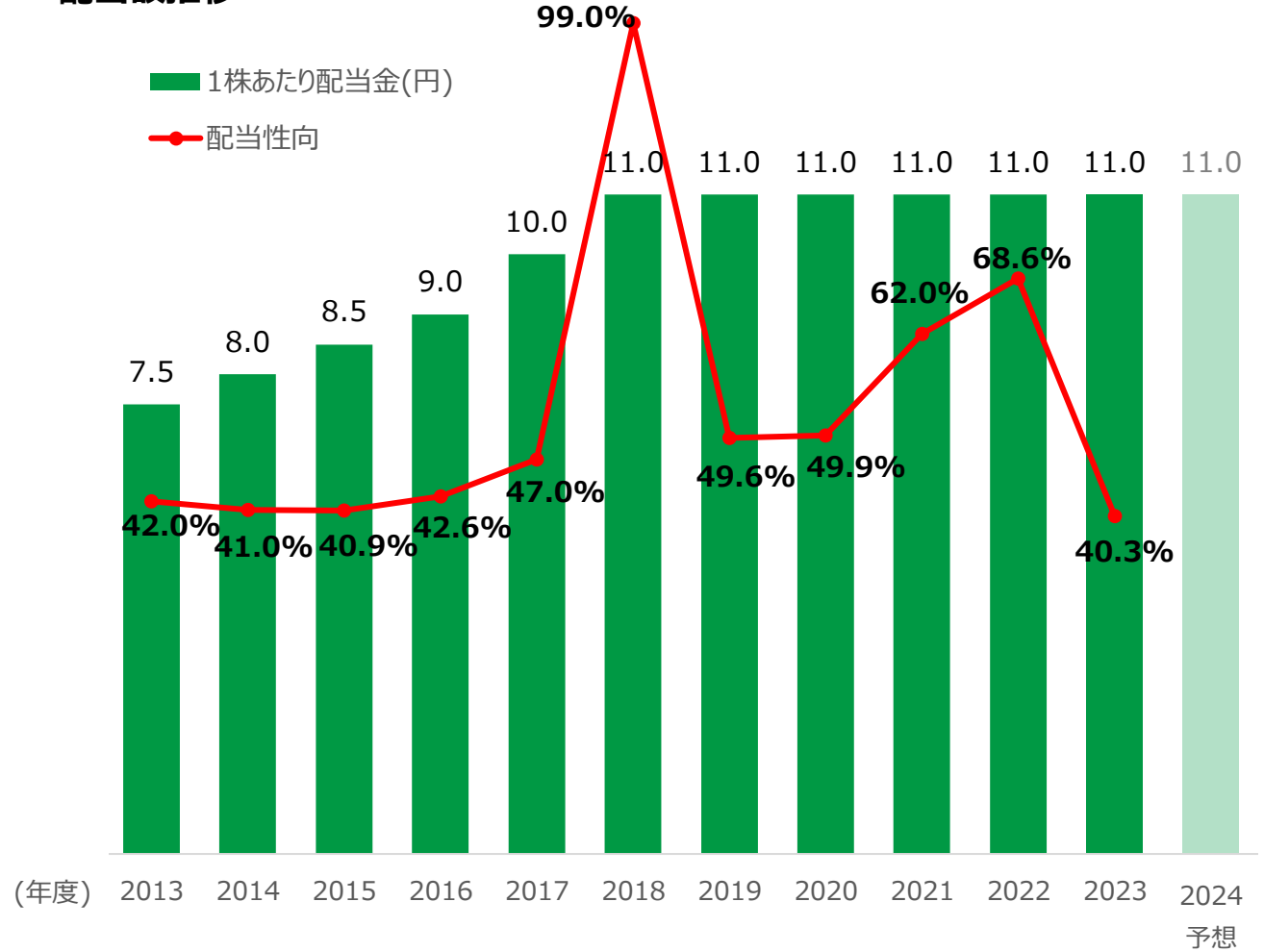
2025年3月期 配当予想

年間計画

11円

中間配当 1株あたり5.50円
 期末配当 1株あたり5.50円

配当額推移



AGENDA

05

APPENDIX

APPENDIX

損益計算書【連結】

(単位：億円)

	2023年 3月期	計画	2024年 3月期	前年差異	2025年3月期 計画			
					通期	前年差異	上期	前年差異
経常収益	1,549	1,985	1,978	429	2,150	172	1,040	118
経常費用	1,260	1,730	1,673	413	1,870	197	905	147
経常利益	289	255	305	16	280	▲25	135	▲29
特別損益	▲15	215	146	161	0	▲146	0	▲216
親会社株主に帰属する 当期純利益	188	383	319	131	195	▲124	90	▲236

注1) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て

注2) 本資料における前年差異は全て表示単位で比較

注3) 連結損益の為替レート

1米ドル 2023年3月期実績 131.62円、2024年3月期計画 140.00円、2024年3月期実績 140.67円、2025年3月期計画 145.00円

(単位：億円)

APPENDIX

損益計算書【セブン銀行単体】

	2023年 3月期	計画	2024年 3月期	前年差異	2025年3月期 計画			
					通期	前年差異	上期	前年差異
経常収益	1,205	1,280	1,288	83	1,335	47	660	20
うちATM受入手数料	1,040	1,105	1,110	70	1,135	25	565	11
経常費用	890	980	997	107	1,060	63	525	54
うち資金調達費用	4	3	2	▲2	5	3	2	1
うちATM設置支払手数料	172	180	175	3	180	5	90	3
うち業務委託費	224	260	269	45	255	▲14	130	7
うち保守管理費	36	40	36	0	40	4	20	2
うち減価償却費	168	195	186	18	240	54	120	31
経常利益	315	300	291	▲24	275	▲16	135	▲34
特別損益	▲22	▲5	▲15	7	0	15	0	2
法人税等合計	97	90	82	▲15	85	3	40	▲12
当期純利益	195	205	193	▲2	190	▲3	95	▲19
EBITDA	483	495	477	▲6	515	38	255	▲3
期末ATM設置台数 (台)	26,913	27,334	27,422	509	27,893	471	27,611	512
ATM受入手数料単価 (円)	108.3	109.9	109.3	1.0	108.7	▲0.6	109.0	▲2.0
平均利用件数 (件/台/日)	101.5	103.8	105.0	3.5	105.8	0.8	105.2	0.5
総利用件数 (百万件)	980	1,030	1,039	59	1,066	27	529	14
海外送金サービス取引件数 (千件)	944	1,171	747	▲197	759	12	360	▲85
デビットサービス取引件数 (千件)	19,389	20,905	20,800	1,411	24,419	3,619	11,563	1,385

注1) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て 注2) 本資料における前年差異は全て表示単位で比較 注3) 本資料におけるEBITDAは全て経常利益+減価償却費

(単位：百万米\$)

APPENDIX

損益計算書【FCTI単体】

	2022年 12月期	計画	2023年 12月期	前年差異	2024年12月期 計画			
					通期	前年差異	上期	前年差異
経常収益	186.3	190.6	189.1	2.8	204.7	15.6	95.9	1.1
経常費用	189.6	201.2	203.0	13.4	207.6	4.6	101.6	1.8
うち資金調達費用	29.4	44.6	43.9	14.5	33.0	▲10.9	15.7	▲6.2
うちATM設置支払手数料	100.1	84.9	84.4	▲15.7	86.9	2.5	43.6	0.8
うち業務委託費	12.2	15.7	16.9	4.7	22.9	6.0	12.1	4.3
うち保守管理費	15.9	16.9	17.1	1.2	17.4	0.3	8.3	0.1
うち減価償却費	6.6	5.9	5.7	▲0.9	3.3	▲2.4	2.0	▲0.9
経常利益	▲3.3	▲10.6	▲13.8	▲10.5	▲2.9	10.9	▲5.7	▲0.7
特別損益	0	0	▲10.0	▲10.0	0	10	0	0
当期純利益	0.0	▲10.0	▲47.4	▲47.4	▲2.9	44.5	▲5.7	▲1.2
EBITDA	3.2	▲4.7	▲8.1	▲11.3	0.4	8.5	▲3.7	▲1.7
期末ATM設置台数 (台)	8,643	8,640	8,602	▲41	8,616	14	-	-
平均利用件数 (件/台/日)	50.2	49.7	49.3	▲0.9	47.9	▲1.4	-	-
総利用件数 (百万件)	159.7	156.8	155.4	▲4.3	162.5	7.1	-	-

注1) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て


注2) 本資料における前年差異は全て表示単位で比較

注3) 本資料におけるEBITDAは全て経常利益+減価償却費

APPENDIX

損益計算書【主要子会社】

(単位：百万円)

 セブン銀行の100%子会社 バンク・ビジネスファクトリー	2023年 3月期	2024年		2025年3月期 計画				
		計画	3月期	前年差異	通期	前年差異	上期	前年差異
経常収益	3,162	3,590	3,682	520	3,950	268	1,891	227
経常費用	3,304	3,510	3,493	189	3,700	207	1,780	149
経常利益	▲142	80	189	331	250	61	111	78
純利益	▲445	－	492	937	－	－	－	－

(単位：百万円)

株式会社 セブン・ペイメントサービス セブン銀行100%子会社	2023年 3月期	2024年		2025年3月期 計画				
		計画	3月期	前年差異	通期	前年差異	上期	前年差異
経常収益	546	655	662	116	787	125	369	55
経常費用	443	574	546	103	667	121	326	49
経常利益	103	81	116	13	119	3	43	7
純利益	86	－	97	11	－	－	－	－

注1) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て

注2) 本資料における前年差異は全て表示単位で比較

APPENDIX

損益計算書【主要子会社】

(単位：百万円)

 PT. Abadi Tambah Mulia Internasional	2022年 12月期	2023年			2024年12月期 計画			
		計画	12月期	前年差異	通期	前年差異	上期	前年差異
経常収益	4,255	6,836	6,836	2,581	9,369	2,533	4,244	1,191
経常費用	3,538	6,011	6,029	2,491	8,132	2,103	3,801	1,087
経常利益	716	825	807	91	1,237	430	443	104
純利益	554	—	641	87	—	—	—	—
ATM台数 (台)	5,557	8,550	7,959	2,402	10,120	1,621	—	—

(単位：百万円)

 Platform, Inc.	2022年 12月期	2023年			2024年12月期 計画			
		計画	12月期	前年差異	通期	前年差異	上期	前年差異
経常収益	2,549	4,897	5,346	2,797	7,575	2,229	3,355	1,223
経常費用	3,097	5,100	5,583	2,486	7,078	1,495	3,249	679
経常利益	▲548	▲203	▲236	312	497	733	106	544
純利益	▲466	—	▲160	306	—	—	—	—
ATM台数 (台)	2,324	3,016	3,017	693	3,541	524	—	—

注1) 為替レート

100インドネシアルピア 2022年12月期実績0.885円、2023年12月期計画0.950円、2023年12月期実績=0.922円、2024年12月期計画0.917円
 17イリピンペソ 2022年12月期実績2.409円、2023年12月期計画2.300円、2023年12月期実績2.526円、2024年12月期計画2.563円

注2) 本資料における前年差異及び前年比は全て表示単位で比較

APPENDIX

損益計算書【セブン・カードサービス】

(単位：百万円)

	(ご参考) 22.7月-23.3月 実績	2024年3月期		2025年3月期 計画	
		7BK連結決算取込 年度累計実績 (23.7月-24.3月)	前年差異	通期	上期
経常収益	27,278	26,818	▲460	31,882	15,010
うちクレジットカード事業	12,757	12,521	▲236	15,937	7,529
うち電子マネー事業	14,521	14,296	▲225	15,944	7,480
経常費用	24,611	23,252	▲1,359	32,687	14,653
うちクレジットカード事業	11,954	10,901	▲1,053	18,289	7,777
うち電子マネー事業	12,657	12,350	▲307	14,397	6,876
経常利益	2,667	3,565	898	▲804	357
純利益	2,002	▲2,870	▲4,872	▲558	247

注1) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て

注2) 本資料における前年差異は全て表示単位で比較



本資料には、株式会社セブン銀行及びその連結子会社等の業績に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、具体的な歴史的事実を除き、本資料の作成時点において取得可能な情報に基づく予測等を基礎として記載されています。これらの記述のためには、一定の前提（仮定）を置いています。これらの記述及び前提（仮定）は主観的なものであり、かつ、様々なリスクや不確実性が内在しております。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想等とは異なる結果となる可能性があります。かかるリスク及び不確実性には、システム障害、災害、犯罪、その他事業を取り巻く様々なリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、本資料に含まれる当社及びその連結子会社等以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。なお、本資料に関する全ての著作権その他の権利は当社に属します。